

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・ 現代の国語	1年	2	現代の国語（東京書籍）	三訂版TOP2500(いいばな書店)
科目的概要 と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ・思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにする。 ・言語感覚を磨き言語文化に対する関心を深める。 ・国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。 ・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ深める。 			
単元・学習内容	到達度目標			
本を紹介する【話す・聞く】	話の構成や、紹介の仕方を工夫して話すことができる。			
「木を見る、森を見る」【読む】	タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見ることができる。			
「技術が道徳を代行するとき」 【読む】	タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見ることができる。			
手順を整理して正確に伝える 【書く】	情報をわかりやすく整理し、表現を検討して手順書を書くことができる。			
「『身銭』を切るコミュニケーション」【読む】	筆者独自の表現や具体例の働きに注意して読み、コミュニケーションのあり方について考えることができる。			
「言葉は世界を切り分ける」 【読む】	他言語と比較することで言葉の意味のあり方を理解し、言語に関心を持ち言語生活を豊かにすることができる。			
新聞記事をもとに問い合わせたり、意見をまとめることを作り、意見をまとめ【書く】	読んだ文章から問い合わせを作り構成を工夫して意見をまとめることができる。			
発想を広げて課題を見つける【話す・聞く】	発想を広げてアイディアを整理し、的確に伝えることができる。			
「広告の形而上学」【読む】	比喩に注意して、広告の奇妙さについて書かれた評論を読み、現代社会の特質について考えることができる。			
「時間と自由の関係について」 【読む】	時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り、その内容を要約することができる。			
調べた情報を説明資料にまとめ 【書く】	読み比べて考え方を明確にし、伝わりやすい構成で書くことができる。			
調べた情報を説明資料にまとめ 【書く】	情報の信頼性を吟味し、伝える相手や目的に応じてまとめることができる。			
異なる主張の文章を読み比べて 自分の意見を書く【書く】	読み比べて考え方を明確にし、伝わりやすい構成で書くことができる。			
メディアを適切に使い分けながら、情報を収集する【話す・聞く】	情報を集めて整理し、考え方を深めることができる。			
情報を整理しながら話し合う 【話す・聞く】	話し合いの進め方を工夫し、考え方を深めることができる。			
「生物の多様性とは何か」【読む】	生物多様性について書かれた評論を読み、ヒトが自ら守るべき「分際」について考え方を深めることができる。			
「暇と退屈の倫理学」【読む】	論点を整理して論証し、読み手の理解が得られるように工夫し、レポートの形式で書くことができる。			
探究したことを発信する 【話す・聞く】	発表の仕方や、話の聞き方を工夫することができる。			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・言語文化	1年	3	精選言語文化 (東京書籍)	体系古典文法(教研出版) 漢文必携(桐原書店)
科目的概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 			
単元・学習内容	到達度目標			
随筆「言葉を届ける」	恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の見解に注意して、随筆を読み味わうことができる。			
古文入門 「児のそら寝」「絵仏師良秀」	歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取ることができる。文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取ることができる。			
古文入門「大江山の歌」 古文学習のしるべ	文語のきまりに注意しながら、登場人物の言動と和歌の内容を読み取ることができる。			
訓読の基本	漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解することができる。			
故事成語	故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読み解きに慣れ親しむことができる。			
随筆「徒然草」	随筆に表れた作者の考え方を、叙述を基に的確に捉えることができる。			
歌物語「伊勢物語」 古文学習のしるべ4 和歌の解釈・古文の窓3 恋愛と結婚	歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉えることができる。			
小説「羅生門」	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考えることができる。			
和歌 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	表現の特色に注意しながら、和歌の内容を読み取ることができる。			
短歌を作る	自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書くことができる。			
漢詩 漢文の窓4 漢詩の形式ときまり	漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむことができる。			
詩歌 秋の航—俳句抄 「小景異情」「一つのメルヘン」	俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 リズムや形式に注意して詩を読み味わい、「ふるさと」に対する作者の心情について考えることができる。 幻想的なイメージを味わい、作者の心情について考えることができる。			
軍記物語「平家物語」	軍記物語特有の表現に注目しながら、登場人物の描かれ方を読み取ることができる。			
史話	話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。			
作品を読み比べる 桜に関する作品を読み比べる	言葉の変化についての解説を読み、言語文化への視野を広げることができる。			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史B	2年	3	日本史B 新訂版 (実教出版)	新詳日本史(浜島書店)
科目的概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 近世までの日本の歴史を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の社会・文化・伝統の特色について理解できるようにする。 歴史的考察力を培い、基礎的な歴史認識を身につける。 時代区分では、旧石器時代～幕藩体制の成立までを扱う。 			
単元・学習内容	到達度目標			
第1章 古代文化のあけぼの	先史時代から縄文時代にいたる原日本人の形成までを理解する。			
第2章 水稻農業の開始と社会生活の進展	東アジアの政治的変動を背景に、新しい文化・社会が成立したことを理解する。			
第3章 東アジア文化の影響と律令制度の成立	推古朝から律令体制の成立、奈良時代・平安時代初期に至る政治の動向や統治体制の整備を、遣隋使・遣唐使などがもたらした文物・制度の影響に着目してとらえる。			
第4章 摂関政治と国風文化	古代文化はその国際性とともに、古代国家の展開と深くかかわっていたことを考察する。			
第5章 中世社会の成立と文化の新機運	武家政権成立の過程と意義を理解する。武家社会の成立や庶民の経済活動の活発化などを背景に、文化に新しい気運が生まれたことを理解する。			
第6章 武家社会の展開と室町文化	武家文化と公家文化の融合や庶民文化の萌芽など文化の動向を、武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流、庶民の台頭など時代背景をおさえて理解する。 庶民の台頭、産業経済など中世社会の多様な展開を幅広くとらえるとともに、庶民の活動が従来の社会秩序を変える原動力になり得たことに気づき、現在日本の生活文化の原型が形成されることに注目する。 織豊政権の統一政策を幕藩体制へのつながりという観点に着目し、大航海時代と言われる世界史的背景を考察しながら理解する。			
第7章 幕藩体制の展開と近世の文化	幕府と藩、農村・農民支配の特色、経済的基盤、封建的身分制度など幕藩体制の特色を、政治的・社会的な背景や役割と関連させて理解する。 鎖国政策については貿易統制、禁教という側面とともに、オランダ、中国、朝鮮、アイヌとの交易にも留意し、鎖国が社会や文化に及ぼした影響と歴史的意義を理解する。 文治政治に転換し安定した幕藩体制下での農業・商工業・その他の産業が、交通の発達や貨幣・金融制度の確立などと相互に関連して発展していくことを考察する。 町人文化は全国的商業活動の拡大による都市発展、町人の経済的繁栄を背景に、全国的に生育していく基盤を考察する。			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史B	3年	2	日本史B新訂版 (実教出版)	最新日本史図表三訂版（第一学習社）
科目的概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 近世から現代に至る日本の歩みをさまざまな角度から見つめ、考察する。 近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち、日本を取り巻く国際環境などと関連付けて考察する。 歴史的思考力を培い、現代社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 			
単元・学習内容	到達度目標			
第7章 幕藩体制の展開と近世の文化	<p>封建社会が衰退していく様子を理解する。</p> <p>産業革命以降、西欧列強がアジアに進出してきた様子と鎖国体制が動搖していく様子を理解する。</p>			
第8章 幕藩体制の動搖と文化の成熟	<p>文化文政時代が江戸を中心に爛熟した文化であった事を理解する。</p>			
第9章 近代への転換	<p>和親条約や通商条約の内容を把握し、日本の開国を世界の流れの中で理解する。</p> <p>明治新政府の成り立ちと中央集権体制の整備によって統一国家の基礎ができたことを理解する。</p>			
第10章 近代国家の形成	<p>自由民権運動と立憲体制の成立、近代化の過程を考察する。</p> <p>日清・日露戦争を清国の朝鮮政策やロシアの極東政策と日本の大陸政策など、世界史的視野から考察する。</p> <p>我が国の朝鮮・満州への進出の過程やその背景を考察し、国民の对外意識の変化や近隣諸国との関係について考察する。</p>			
第11章 両大戦間の日本と市民文化	<p>第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察する。</p> <p>大衆社会成立の中での政党政治の発展を、政治や社会運動の動向に留意しながら考察する。</p>			
第12章 15年戦争と日本	<p>国際経済、全体主義の台頭、中国の民族運動など世界情勢と、軍部の政治的進出や経済恐慌など国内政治と経済の動搖に着目して中国との戦争とその長期化及び国際関係の変化、太平洋戦争開始に至る過程を考察する。</p> <p>戦時体制下の国内経済と国民生活の変化、学問・思想や教育に対する統制など、全体主義的国家体制の進展と国民生活について考察する。</p>			
第13章 現代の日本と新しい文化	<p>戦後の諸改革や経済復興の過程、サンフランシスコ平和条約締結による国際社会への復帰、科学技術・産業の発展による経済成長などを理解し、国際社会における日本の立場について考察する。</p> <p>経済発展による生活意識や価値観の変化など国民生活の変化について考察する。</p>			

シラバス (総合学科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・地理 B	2年	2	新詳地理B（帝国書院） 新詳高等地図 （帝国書院）	新詳地理資料 COMPLETE （帝国書院） 新地理要点ノート（啓隆社）
科目的概要と目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元・学習内容	到達度目標			
第Ⅰ部 様々な地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地図が工夫され、いろいろな利用がされていることを理解する。 読図や統計地図の読み取りを通じて、地図の有効性を理解する。 			
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 ・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活 ・環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 大地形や各種の地形の基本的な内容について系統地理的な視点や方法で理解する。 地形の地域的な差違や類似性を、分布やまとまりなどを通して理解し、人間生活との関係について考察する。 地図や写真を活用し、理解したことを地図や写真を使って指摘・表現できるようにする。 世界の気候について、ケッペンの気候区分を踏まえ、系統地理的な視点や方法で理解する。 気候の地域的な差違や類似性を、分布やまとまりなどを通して理解し、人間生活との関係について考察する。 植生・土壌の基本的な内容について、気候との関連性を踏まえ、系統地理的な視点や方法で理解する。 日本の自然と特徴を、系統地理的な視点や方法で理解する。 環境問題を世界的な視野から地域性を踏まえ追究する。 			
2章 資源と産業 ・世界の農林水産業 ・食料問題 ・世界のエネルギー・鉱産資源 ・世界の工業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の農業について、自然や社会条件の違いに着目し多様性や類似性について、系統地理的な視点や方法で理解し、それらの形態や分布の特徴について考察する。 世界の農業がグローバル化する中で、どのような課題を抱えているのかを考察する。 日本の農業を特徴と背景を考察するとともに、グローバル化する世界の中で、日本の農業の抱える課題について考察する。 世界各地のエネルギー・鉱産資源の現状を理解し、エネルギー問題などの国際的な問題について考察する。 工業の立地条件とその要因の変遷について、地図や資料を分析する作業を通して理解する。 			

シラバス (総合学科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・地理 B	2年	3	新詳地理B（帝国書院） 新詳高等地図 （帝国書院）	新詳地理資料 COMPLETE （帝国書院） 新地理要点ノート（啓隆社）
科目的概要と目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元・学習内容	到達度目標			
第Ⅰ部 様々な地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地図が工夫され、いろいろ利用がされていることを理解する。 読図や統計地図の作成を通じて、地図の有効性を理解する。 			
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 ・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活 ・環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 大地形や各種の地形の基本的な内容について系統地理的な視点や方法で理解する。 地形の地域的な差違や類似性を、分布やまとまりなどを通して理解し、人間生活との関係について考察する。 地図や写真を活用し、理解したことを地図や写真を使って指摘・表現できるようにする。 人間の生活は気候に大きな影響を受けていることを理解し、考察する。 世界の気候について、ケッペンの気候区分を踏まえ、系統地理的な視点や方法で理解する。 気候の地域的な差違や類似性を、分布やまとまりなどを通して理解し、人間生活との関係について考察する。 植生・土壤の基本的な内容について、気候との関連性を踏まえ、系統地理的な視点や方法で理解する。 日本の自然と特徴を、系統地理的な視点や方法で理解する。 日本に被害をもたらしてきた自然災害の原因について考察する。 環境問題を世界的な視野から地域性を踏まえ追究し、それらが地球的課題であることや地域によって現れ方が異なることを理解する。 			
2章 資源と産業 ・世界の農林水産業 ・食料問題	<ul style="list-style-type: none"> 世界の農業・林業・水産業について、自然や社会条件の違いに着目し多様性や類似性について、系統地理的な視点や方法で理解し、それらの形態や分布の特徴について考察する。 世界の農業がグローバル化する中で、どのような課題を抱えているのかを考察する。 日本の農業を特徴と背景を考察するとともに、グローバル化する世界の中で、日本の農業の抱える課題について考察する。 			
・世界のエネルギー・鉱産資源 ・世界の工業	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地のエネルギーや鉱産物生産の現状について理解し、エネルギー問題などの国際的な問題について考察する。 工業の立地条件とその要因の変化による変遷について、地図や資料を分析する作業を通して理解する。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・ 地理 B	3年	2	・新詳地理B(帝国書院) ・新詳高等学校地図 (帝国書院)	・新詳地理資料 COMPLETE (帝国書院) ・新地理要点ノート (啓隆社)
科目的概要 と目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元・学習内容	到達度目標			
第Ⅱ部 2章 ・世界の工業 ・現代世界の工業の現状と課題 ・日本の工業 ・第3次産業 ・世界を結ぶ交通・通信 ・現代世界の貿易と経済圏	<ul style="list-style-type: none"> 工業の立地条件とその要因の変遷について、地図や資料を分析する作業を通して理解する。 世界の工業地域のいくつかを比較し、課題を設定してその類似性等を比較考察する。 日本の工業が、世界の工業の動きの中で、どのように変化してきたか、またどのような課題を抱えているかを考察する。 世界の人や物を結ぶ交通と、情報を結ぶ通信の現状を理解し、課題を考察する。 			
3章 人口、村落・都市 ・世界の人口 ・村落と都市 ・都市・居住問題 4章 生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> 人口、都市、民族問題を世界的な視野から地域性を踏まえ追究し、それらが地球的課題であることや地域によって現れ方が異なることを理解する。 諸問題の解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であることを考察する。 			
第Ⅲ部 現代世界の諸地域 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア ・現代世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 各地域について、自然・歴史・文化・産業などに見られる地域的特色や地球的課題を基に、各地域に対する関心を高め、それを意欲的に追求する。 各地域について自然、歴史的背景をふまえた地域の変容と実態、これによって生じた民族・文化的特徴など地域的特色と地球的課題について、特徴ある事象と他の事象を関連づけて考察する。 現代世界における日本の国土について、現代における日本の特徴や諸課題を理解する。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・ 公共	1年	2	高等学校 公共 (第一学習社)	最新図説 公共(浜島書店) 公共ノート(第一学習社)
科目的概要 と目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、公共的な空間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			
単元・学習内容	到達度目標			
公共の扉 ①公共的な空間をつくる私たち ②公共的な空間における人間としての在り方生き方 ③公共的な空間における基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義や青年期の心理について、それらがどのようなものかを理解し、自分自身の問題として考えることができる。 ・公共的な空間とは何かについて思考を深め、その空間が多様性にあふれていることを知り、社会的包摂の重要性を理解する。 			
自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（1） ①法の規範の意義と役割 ②契約と消費者の権利・責任 ③司法参加の意義 ④政治参加と公正な世論の形成 ⑤国際社会と国家主権 ⑥日本の安全保障と防衛 ⑦国際社会の変化と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を理解する。 ・世界のおもな政治体制について、眞の民主政治の実現と関連させて考察する。 ・日本国憲法の三つの基本原理について理解する。 ・日本国憲法の平和主義の特色を理解し、平和主義と日本の安全保障について学ぶ。 ・自由権・社会権・新しい人権とは何かを学ぶ。 ・国会の地位と構成、権限について理解する。 ・議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解する。 ・裁判所の役割や裁判制度、国会の地位と構成について理解する。 ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもつ課題について考察する。 ・政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について理解する。 ・戦後の国際社会と冷戦終結前後の状況について理解する。 ・国際法の意義と役割について理解する。 ・国境と領土問題や日本の領土問題について理解する。 ・人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。 ・国際連合の役割と課題について理解する。 ・核兵器の問題について理解する。 ・国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として何をすべきかを理解する。 			
自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（2） ①雇用と労働問題 ②社会の変化と職業観 ③市場経済の機能と限界 ④金融の働き ⑤財政の役割と社会保障 ⑥経済のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。 ・企業・家計・政府はどのような活動をしているか理解する。 ・企業の活動、株式会社の特徴について理解する。 ・市場経済のしくみについて理解する。 ・価格機構のはたらきについて理解する。 ・国民所得について理解する。 ・景気変動について理解する。 ・経済成長は生活にどのような変化を与えるかを理解する。 ・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について理解する。 ・金融機関の役割、日本銀行の役割について理解する。 ・産業構造の変化について理解する。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について理解する。 ・社会保障の意義を理解し、現代の社会保障の課題について考察する。 ・貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考える。 ・円高・円安のしくみについて、身近な事例をもとにレポートを作成するなど、適切に表現する。 ・貿易の拡大とそれにともなう貿易摩擦について理解する。 ・南北問題の発生した原因について考え、発展途上国のかかえている問題について理解する。 			
持続可能な社会づくりの主体となる私たち ①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③生命倫理 ④情報 ⑤国際社会の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国際協力のあり方、国際経済の中での日本の役割について考える。 ・生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題について考察し、公共的な空間で生きる人間としてのあり方や生き方についての自覚を深める。 			

シラバス (総合学科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・現代社会	2年	2	高等学校改訂版現代社会 (第一学習社)	最新図説 現社(浜島書店) 現代社会ノート(第一学習社)
科目的概要と目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方にについて考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			
単元・学習内容	到達度目標			
現代に生きる青年	<p>①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義や青年期の心理について、それらがどのようなものかを理解し、自分自身の問題として考えることができる。 			
現代の民主政治と政治参加の意義	<p>①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制 ④日本国憲法の基本原理 ⑤平和主義と安全保障 ⑥基本的人権の保障と新しい人権 ⑦国民主権と議会制民主主義 ⑧内閣と行政の民主化 ⑨裁判所と人権保障 ⑩地方自治と住民の福祉 ⑪世論形成と政治参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家はどのような考え方を背景に作られたかを理解する。 ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を理解する。 ・世界のおもな政治体制について、眞の民主政治の実現と関連させて考察する。 ・日本国憲法の三つの基本原理について理解する。 ・日本国憲法の平和主義の特色を理解し、平和主義と日本の安全保障について学ぶ。 ・自由権・社会権・新しい人権とは何かを学ぶ。 ・国会の地位と構成、権限について理解する。 ・議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解する。 ・裁判所の役割や裁判制度、国会の地位と構成について理解する。 ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもう一つ課題について考察する。 ・政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について理解する。 			
国際政治の動向と日本の役割	<p>①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤国境と領土問題 ⑥地域紛争と人種・民族問題 ⑦外交政策と日本の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後の国際社会と冷戦終結前後の状況について理解する。 ・国際法の意義と役割について理解する。 ・国境と領土問題や日本の領土問題について理解する。 ・人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。 ・国際連合の役割と課題について理解する。 ・核兵器の問題について理解する。 ・国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として何をすべきかを理解する。 			
現代の経済社会と私たちの生活	<p>①経済社会と経済体制 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化 ⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主义経済の特徴を理解する。 ・企業・家計・政府はどのような活動をしているか理解する。 ・企業の活動、株式会社の特徴について理解する。 ・市場経済のしくみについて理解する。 ・価格機構のはたらきについて理解する。 ・国民所得について理解する。 ・景気変動について理解する。 ・経済成長は生活にどのような変化を与えるかを理解する。 ・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について理解する。 ・金融機関の役割、日本銀行の役割について理解する。 ・戦後の日本経済について理解する。 ・産業構造の変化について理解する。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について理解する。 ・公害問題について理解し、公害を防止し環境を保全するための方策について考える。 ・消費者問題について、消費者を保護するために国はどのような対策をとっているのかを理解する。 ・社会保障の意義を理解し、現代の社会保障の課題について考察する。 			
国際経済の動向と日本の役割	<p>①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②国際経済の動向 ③発展途上国の経済と南北問題 ④国際協調と日本の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考える。 ・円高・円安のしくみについて、身近な事例をもとにレポートを作成するなど、適切に表現する。 ・貿易の拡大とそれにともなう貿易摩擦について理解する。 ・南北問題の発生した原因について考え、発展途上国のかかえている問題について理解する。 ・国際協力のあり方、国際経済の中での日本の役割について考える。 			
現代に生きる倫理	<p>①豊かな人生を求めて ②伝統的なものの考え方と価値観 ③西洋の自然観と人間観 ④私たちの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。 ・日本の伝統意識を理解する。 ・平等な社会の実現には、偏見を取りのぞき、主体的に努力することが求められていることを理解する。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・政治・経済	2年	2	高校 政治・経済 新訂版 (実教出版)	最新図説政経 (浜島書店)
科目的概要と目標	・現代の諸問題の解決のために、主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育成する。			
単元・学習内容	到達度目標			
・民主政治の基本原理	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本的な原理について、その成り立ちを歴史的な観点からとらえることができる。 ・世界の主な政治体制を理解する。 			
・日本国憲法の基本的性格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本原理について理解する。 			
・日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> ・三権の働きについて、それらの関係について考察することができる。 			
・現代の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後政治に触れながら、将来の有権者としての行動はどうあるべきかを考えることができる。 			
・現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後国際政治に触れながら、将来の有権者としての行動を考える。 			
・経済社会の変容と現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯を経て成立しているか理解する。 			
・現代経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の日本経済の歩みを振り返りながら、現在日本が直面している経済の諸課題について考える。 			
・世界経済と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の貿易の仕組みやその決済など国民経済のしくみについて理解する。 			
・現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の所在を明確にしながら、どのように対処していくかを考えることができる。 			

シラバス (総合学科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・倫理	3年	2	高校倫理 新訂版 (実教出版)	最新図説 倫理 (浜島書店)
科目的概要と目標	現代社会を生きていくにあたり、先人の思想やさまざまな宗教の基本的な考え方を踏まえ、高校生としての自己形成と人間としてのあり方や生き方にについて理解を深め、良識ある人間として必要な能力と態度を育てる。			
単元・学習内容	到達度目標			
青年期の課題と自己形成 ・青年期の意義 ・青年期の課題	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の意義と課題を理解し、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考える。 			
人間としての自覚 ・ギリシア思想 ・キリスト教思想 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想	<ul style="list-style-type: none"> 西洋思想の源流となっている、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解する。 イエスやムハンマド、仏陀の言行を踏まえ、彼らの教えが人間をどのようにとらえ、どのように生きることを指し示したかを考察する。 東洋思想の源流となっている儒家思想、老荘思想について理解する。 			
日本人としての自覚 ・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開	<ul style="list-style-type: none"> 古来の日本人の考え方や先人の思想を踏まえ、日本人の人間観、自然観、宗教観などの特色について、日本の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら考察する。 			
現代に生きる人間の倫理 ・人間の尊厳 ・科学・技術と人間 ・民主社会と自由の表現 ・社会と個人 ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福	<ul style="list-style-type: none"> 近代における西洋の人間尊重の考え方の基礎となったルネサンスと宗教改革について理解する。 近代的な科学的思考方法の基礎となっているベーコンの帰納法とデカルトの演绎法を理解する。 近代の人間尊重を徹底したカントの道徳法則とヘーゲルの人倫を考察する。 近代国家において社会契約説の果たした役割や現代の資本主義の発展とともに生じた社会主義思想の出現と、プラグマティズムについて考察する。 現代における人間疎外の状況の中で、自由で主体的な生き方を求める実存主義など、現代思想を理解する。 			
現代の諸課題と倫理 ・生命の倫理 ・環境の倫理 ・家族の倫理 ・地域社会の課題 ・高度情報化社会の課題 ・文化と宗教の課題 ・国際平和と人類の福祉の課題	<ul style="list-style-type: none"> 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題について考察し、現代に生きる人間としてのあり方や生き方についての自覚を深める。 			

シラバス (総合学科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学・ 数学 I	1年	3	数学 I Standard (東京書籍)	WIDE 数学 I+A (東京書籍) 増補改訂版 チャート式 解法と演習 数学 I+A (数研出版)
科目的概要 と目標	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			
単元	学習内容		到達度目標	
数と式	式の計算		文字を含む式の表し方や見方を理解する。 公式の導き方や適用の仕方を理解する。	
	実数		数を実数まで拡張することの意義を理解する。	
	1次不等式		1次不等式について理解を深め、それらが活用できる。	
集合と命題			集合の意味や表し方、包含関係について理解する。 集合の包含関係と関連づけて命題を理解する。	
2次関数	2次関数とそのグラフ		関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識する。 平方完成やグラフの平行移動に着目することにより、いろいろな2次関数のグラフがかける。 2次関数のグラフを利用することにより、基本的な最大最小問題を解くことができる。	
	2次方程式と 2次不等式		与えられた条件から2次関数を決定することができる。 グラフを利用して2次不等式を解くことができる。	
図形と計量	三角比		直角三角形における三角比の意味を理解する。 鈍角まで拡張された三角比の基本的な性質について理解する。	
	三角形への応用		正弦定理、余弦定理の図形的な意味を理解し、それらを利用して、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 三角比の考えを具体的な事象の考察に活用できる。	
データの分析	データの分析		四分位偏差、分散、標準偏差などの意味を理解し、それらを用いてデータの傾向を把握できる。 散布図や相関係数の意味を理解する。	
	仮説検定の考え方		具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。	

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・化学基礎	1年	2	化学基礎 (実教出版)	ベストフィット化学基礎 新課程 (実教出版)
科目的概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 物質の構成粒子とそれが構成する物質、および、物質が様々な変化をして他の物質をつくることを理解できるようにする。 物質についての基本的な粒子概念、原理、法則などを、身近な物質や現象を通して理解し生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。 			
単元・学習内容	到達度目標			
物質の構成	物質の種類と性質について学び、化学を学ぶことに意欲をもつ。			
物質の構成粒子 原子 イオン 元素の周期表	物質が原子、イオン、分子から構成されていること、構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。			
粒子の結合 イオン結合 共有結合 金属結合	<p>イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオン結合及びイオン結合からなる物質の性質を理解する。</p> <p>共有結合を電子配置と関連付けて理解し、分子からなる物質の性質を理解する。</p> <p>金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を理解する。</p>			
物質量と化学反応式 原子量と分子量・式量・物質量 溶液の濃度、化学反応式 基本法則に関連した化学史	<p>原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項、物質量と溶液の濃度の関係を理解する。</p> <p>化学反応式は化学反応に関する物質とその量的関係を表すことを理解する。</p>			
酸と塩基の反応 酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩と中和滴定	<p>水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係及びpHについて理解する。</p> <p>酸と塩基の性質と、中和反応に関する物質の量的関係を理解する。</p> <p>中和滴定と滴定曲線により、中和反応を理解する。</p>			
酸化還元反応 酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応の起こりやすさ 身の回りの酸化還元反応	<p>酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。</p> <p>酸化剤と還元剤の反応と実用電池の形成の関係を理解する。</p> <p>酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて理解する。</p>			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・物理基礎	2年	2	改訂版 物理基礎 (教研出版)	プログレス物理基礎(教研出版) セミナー物理基礎(第一学習社)
科目的概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
単元・学習内容	到達度目標			
物体の運動とエネルギー 運動の表し方	<ul style="list-style-type: none"> 物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解する。物体が直線運動する場合の加速度を理解する。 			
さまざまな力とそのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 物体に働く様々な力について理解し、それらのつり合いについて理解する。 運動の三法則を理解する。 			
力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 力学的エネルギーについて理解し、仕事と力学的エネルギーの関係を理解する。 			
さまざまな物理現象と エネルギー利用 熱	<ul style="list-style-type: none"> 熱運動の視点をもつこと。熱の移動および熱と仕事の変換について理解する。 			
波	<ul style="list-style-type: none"> 波の性質を理解する。音波(弦の振動を含む)の性質を理解する。 			
電気	<ul style="list-style-type: none"> 物質によって抵抗率が異なることを理解する。交流の発生、送電および利用について、基本的な仕組みを理解する。 			
エネルギーとその利用	<ul style="list-style-type: none"> 水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用について、物理学的な視点から理解する。 			
物理学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> 物理基礎で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結びついていることを理解する。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・生物基礎	2年	2	改訂版 生物基礎 (数研出版)	標準セミナー 生物基礎(第一学習社) リードLight ノート生物基礎(数研出版) スクエア最新図説生物 n e o (第一学習社)
科目的概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、観察、実験などを通して、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
単元・学習内容	到達度目標			
生物の特徴 生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 光合成と呼吸	<ul style="list-style-type: none"> 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解する。 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 			
遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とDNA 遺伝情報の発現 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解する。 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。 			
生物の体内環境 体液という体内環境 腎臓と肝臓 神経とホルモンによる調節 免疫	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境が保たれていることを理解する。 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する。 			
植生の多様性と分布 さまざまな植生 植生の遷移 気候とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。 気候と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解する 			
生態系とその保全 生態系 物質とエネルギーの流れ 生態系のバランス 人間生活と生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する。 生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識する。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・地学基礎	2学年	2	新編 地学基礎 (教研出版)	スクエア最新図説 地学 (第一学習社) リードα 地学基礎 (教研出版) リード Lightノート 地学基礎 (教研出版)
科目的概要と目標	地学的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対して探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
単元・学習内容	到達度目標			
惑星としての地球 太陽系の天体 太陽系の誕生と地球の進化	太陽系の特徴、成り立ちを知る。太陽系の他の惑星や月の特徴を知り、各惑星と地球との違いや、地球に生命が誕生するための条件について考える。			
活動する地球 地球の構造 プレートの運動 地震と地殻変動 火山	地球の形と大きさや、地球の内部構造を理解する。 プレート運動により、地震や火山活動、地殻変動などの地学現象が説明できることを理解する。構成物質を、偏光顕微鏡観察等を通して理解する。プレート運動がマントルブルームに起因することを理解する。			
移り変わる地球 地層の形成 古生物の変遷と地球環境	地層の重なりや地形がどのような仕組みでできたかを理解する。 地球の誕生から46億年の歴史を生物の変遷・進化と地球環境の変化を対応させて説明できる。			
大気と海洋 地球の熱収支 大気と海水の運動	大気圏の構造、太陽の放射エネルギーによる地球の熱収支について理解する。 太陽の放射エネルギーが大気の運動を生じさせ、気象の変化や、熱収支のバランスを保つのに役立っていることを理解する。また、海洋も同じように熱収支のバランスにとって重要であることを理解する。			
地球の環境 地球環境の科学 日本の自然環境	人間活動の拡大が、地球環境へ与えている問題について地学的に考える。気候変動を総合して環境問題をとらえる。 日本の自然環境を知るとともに、そこで起こっている災害について理解する。			
宇宙の構成 太陽と恒星 宇宙のすがた	太陽の構造、太陽のエネルギー発生の仕組みを理解し、恒星としての太陽の特徴について学ぶ。 恒星の性質を分析する方法や恒星の進化、明るさについて理解する。 宇宙の構造、銀河の特徴を知り、ビッグバンによる宇宙の誕生から現在までの流れを知る。			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・音楽 I	1年	2	高校生の音楽①(教育芸術社)	高校生のための音楽ノート【改訂版】(カワイ出版)
科目的概要と目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。			
学習内容（題材）	到達度目標			
歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・「校歌」 ・「翼をください」 ・カンツォーネ ・「Caro mio ben」 ・「野ばら」 (シューベルト / ウェルナー) 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・歌声の響かせ方に興味をもち歌唱活動に主体的に取り組んでいる。 ・旋律や対旋律の特徴、自身の声域を考えて歌唱パートを選び、二部合唱の楽しさを味わっている。 ・詩の内容や鼻濁音の歌い方をとらえイメージをもって歌っている。 ・イタリア語の特徴や歌い方を理解し、独唱にふさわしい表現を工夫して歌おうとしている。 ・2つの「野ばら」について学び、それぞれの作品の雰囲気やドイツ語の語感を味わって歌っている。 			
器楽	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー ・ギター ・箏 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー奏法の特徴を理解し、少人数グループでのアンサンブルに取り組み、お互いに発表し合うことができる。 ・ギターの扱い方や TAB 譜の見方を理解し、メロディーや伴奏の弾き方の基礎を身に付けることができる。 ・箏の奏法や縦譜の文化にふれ和楽器の響きや余韻の変化を味わう。 			
楽典	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の仕組み ・拍子とリズム ・音楽用語、記号 ・コードネーム 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・五線譜の仕組みや記譜の方法を理解する。 ・拍子やリズム、記号の意味を学び、その効果や働きを理解する。 ・三和音や 7th コードの表記と構成音を理解する。 			
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラの楽器 ・「動物の謝肉祭」 ・オペラ「椿姫」 ・交響曲「第九」 ・西洋音楽史 ・諸民族の音楽 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や特徴、音楽的効果に興味をもち鑑賞に取り組む。 ・登場キャラクターがどのように音楽で表現されているかをグループで話し合うことができる。 ・オペラならではの総合芸術としての表現を感受しようとしている。 ・音楽に込められた作曲家の思いについて考察する。 ・西洋音楽史の流れや変遷を学びながら、各時代の特徴や代表的な作曲家の作品にふれ、クラシック音楽の味わい方を学ぶ。 ・さまざまな国や地域の音楽に触れ、音楽的視野を広げる。 			
創作	<ul style="list-style-type: none"> ・編曲や作曲 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・創作や編曲をする楽しさを知り、イメージをもって創作している。 ・音楽を形作っている要素の理解を深める。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材	
芸術・美術Ⅰ	1年	2	高校生の美術1 (日本文教出版)	なし	
科目的概要と目標		<ul style="list-style-type: none"> ・美術の意義、美術作品の美しさを理解することができる。 ・制作の意図を明確にし、個性的で美しい表現しようとすることができる。 ・制作に関する基礎的な知識や技法を理解し、表現に生かそうとすることができる。 ・表現・鑑賞に必要な知識を習得し、話し合ったり、発表したりすることができる。 			
単元・学習内容		到達度目標			
○ 美術での取り組みについて (鑑賞)		<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品を鑑賞し、込められた思いや作者の創作に対する姿勢について理解する。 ・1年間の学習の取り組みについて理解する。 			
○ 素描（静物デッサン） (絵画)		<ul style="list-style-type: none"> ・モチーフの形や色のおもしろさを観察しながら描く。 ・光と影の美しさ、素材の質感を感じながら描く。 ・デッサンの技法や構図について知る。 			
○ 油彩 静物画 (絵画)		<ul style="list-style-type: none"> ・モチーフの形や色のおもしろさを観察しながら描く。 ・光と影の美しさ、素材の質感を感じながら描く。 ・デッサンの技法や構図について知る。 ・ねらいを明確にし、自分なりの構想を立てる。 ・前回の素描からねらいを決め、構図を考えながらモチーフの下絵を描く。 ・寒色、または、暖色で全体のイメージを把握する。 ・赤、青、黄などの制限された色彩を用い、全体を大まかに把握する。 ・モチーフ個々の美しさや全体の調和を考え描きこむ。 			
○ 鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> ・制作後の感想をまとめると共に、自他の作品を鑑賞し、話し合ったり、発表したりすることができる。 			
○ デザインとイメージ (鑑賞)		<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの活用、抽象表現について、作品・ビデオ教材を鑑賞しながら理解を深める。 ・スパッタリング、スクラッチングなどの技法を体験し、技法から作品表現ができるることを知る。 			
○ コンピュータグラフィック (デザイン)		<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上の文字や図柄を集め何度も配列をしてみる。 ・配列した状態から、自分なりの美しさが発見できないか考えさせる。 ・色や形など主役を決め、配置・構成させる。 			
○ 鑑賞		<ul style="list-style-type: none"> ・自他の作品を鑑賞し、制作の趣旨や技法の効果について話し合ったり、発表したりすることができる。 			
○ 平面構成 文字とデザイン (デザイン)		<ul style="list-style-type: none"> ・文字によるデザイン作品の楽しさについて知る。 ・参考作品等から、自由な発想を楽しむ。 ・文字の形やバランスを考え、レタリング・彩色する。 ・色彩から受けるやイメージや配置を考え、平面構成する。 			

○鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の作品を鑑賞し、制作の趣旨や構成要素の工夫について話し合ったり、発表したりすることができる。
○人物画 (絵画)	<ul style="list-style-type: none"> ・人物画の表現について、作品・ビデオ教材を鑑賞しながら理解を深める。 ・対象を丁寧に見つめることで、人間の内面が表現できることを知る。 ・描きたい角度や表現したい表情を考え、クロッキーや鉛筆デッサンをする。 ・デッサンを参考にし、構図を考え下書きする。 ・描きたいイメージと画面全体のバランスや調和を考え彩色する。(必要に応じ、静物画と同様、色彩制限を行う。) ・立体感を感じさせるために面取り表現について知る。 ・背景の彩色が作品の仕上がりに影響することを知る。
○鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の作品を鑑賞し、制作の趣旨や表現の工夫について話し合ったり、発表したりすることができる。

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・書道 I	1年	2	書 I (光村図書出版)	なし
科目的概要と目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。			
単元・学習内容	到達度目標			
漢字の書 ・漢字の成立 ・楷書の古典臨書 「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顏氏家廟碑」「牛橛造像記」	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成立や五書体について理解することができる。 楷書の基本的な運筆・用筆の技能を身に付けることができる。 古典の書体や書風を意識しながら、臨書の半紙作品を仕上げることができる。 			
漢字の書 ・行書の古典臨書 「蘭亭序」「風信帖」 ・隸書や草書の古典臨書 「曹全碑」「真草千字文」 ・1～4字の漢字創作作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本的な運筆・用筆の技能を身に付けることができる。 古典の書体や書風を意識しながら、臨書の半紙作品を仕上げることができる。 さまざまな書体で書かれた漢字の古典を鑑賞し、それぞれの古典のよさや美しさを味わい、その表現方法について考えることができる。 古典臨書の活動を生かして、自分の書きたい漢字や言葉について表現方法を工夫しながら、創作作品を仕上げることができる。 			
篆刻 ・姓名印の制作	<ul style="list-style-type: none"> 篆刻作品を鑑賞し、よさや美しさを味わい、自分の作品に生かそうとすることができる。 篆書の特徴や書作品における印の役割について理解し、姓名印の印稿を作ることができる。 			
仮名の書 ・仮名の古筆臨書「蓬莱切」 ・いろは歌の練習	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の成立や仮名の字源について理解することができる。 仮名の名筆を鑑賞し、よさや美しさを味わったり、線質や字形の特徴について理解したりすることができる。 			
仮名の書 ・散らし書き作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の名筆を鑑賞し、よさや美しさを味わったり、線質や字形の特徴について理解したりすることができる。 名筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付け、散らし書きの作品を制作することができる。 			
漢字仮名交じりの書 ・名筆や現代の作品の鑑賞 ・15字程度の漢字仮名交じり書作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や仮名の書の学習を生かし、用具用材、運筆・用筆、紙面構成などの違いによる表現効果について考えることができる。 名筆や現代の書作品を鑑賞し、よさや美しさを味わったり、感想をまとめたりすることができる。 好きな10～20字程度の漢字仮名交じりの文や詩などを選び、その表現方法について工夫した草稿を考えたり、納得のいく作品になるように練習に取り組んだりすることができる。 自分で選んだ言葉について表現方法や紙面構成等を工夫しながら、作品を仕上げることができる。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	1年 (男女)	2	現代高等保健体育 (大修館)	アクティブ・スポーツ2022 (大修館) 現代高等保健体育ノート(大修館)
科目的概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようとする。 各スポーツの基礎運動を理解する。 各スポーツのルールを理解し、ゲームを展開できるようとする。 健康・安全に留意し、豊かなスポーツライフを実現できるようとする。 			
単元・学習内容	到達度目標			
集団行動	<ul style="list-style-type: none"> 集合、整列等集団行動を正しく機敏に行う。 			
体つくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 			
スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> 自らの体力を知り、体つくり運動（体ほぐしの運動・体力を高める運動）に主体的に取り組むことができる。 			
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 走、跳、投の技術を高める。 			
選択 球技 (ゴール型) ハンドボール バスケットボール (ネット型) テニス バレーボール バドミントン (ベースボール型) ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ゲームが展開できる。 			
武道 柔道 剣道	<ul style="list-style-type: none"> 技を高め勝敗の楽しさを味わいながら試合ができる。 			
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> 踊りを通して楽しさや喜びを味わい、発表できる。 			
体育理論 スポーツの発祥と発展	<ul style="list-style-type: none"> スポーツの意義や歴史、文化的特徴や現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について理解する。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	2年 (男女)	2	現代高等保健体育 改訂版（大修館）	アクティブ・スポーツ 2021 (大修館) 現代高等保健体育ノート改訂版 (大修館)
科目的概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようとする。 各スポーツの基礎運動を理解する。 各スポーツのルールを理解しゲームを展開していく中で、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。 健康・安全に留意し、豊かなスポーツライフを実現できるようとする。 			
単元・学習内容	到達度目標			
集団行動	<ul style="list-style-type: none"> 集合、整列等集団行動を正しく機敏に行う。 			
体つくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 			
スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> 自らの体力を知り、体つくり運動（体ほぐしの運動・体力を高める運動）に主体的に取り組むことできる。 			
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 走、跳、投の技能を高める。 			
選択				
球技 (ゴール型) ハンドボール サッカー バスケットボール (ネット型) テニス バレーボール バドミントン (ベースボール型) ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ゲームが展開できる。 			
武道 柔道 剣道	<ul style="list-style-type: none"> 技を高め勝敗の楽しさを味わいながら試合ができる。 			
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> 踊りを通して楽しさや喜びを味わい、発表できる。 			
体育理論 運動・スポーツの学び方	<ul style="list-style-type: none"> 運動・スポーツの効果的な学び方を理解できる。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	3年 (男女)	3	現代高等保健体育 (大修館)	アクティブ・スポーツ2020 (大修館) 現代高等保健体育ノート (大修館)
科目的概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 集合、整列等集団行動を正しく機敏に行うことができるようとする。 各スポーツの基礎運動を理解する。 各スポーツのルールを理解しゲームを展開していく中で、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。 健康・安全に留意し、生涯にわたってスポーツライフを継続できるようにする。 			
単元・学習内容	到達度目標			
集団行動	<ul style="list-style-type: none"> 集合、整列等集団行動を正しく機敏に行う。 			
体つくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 			
スポーツテスト	<ul style="list-style-type: none"> 自らの体力を知り、体つくり運動（体ほぐしの運動・体力を高める運動）ができる。 			
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 走、跳、投の技能を高める。 			
選択				
球技 (ゴール型) ハンドボール サッカー バスケットボール (ネット型) テニス バレーボール バドミントン 卓球 (ベースボール型) ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、ゲームが展開できる。 			
体育理論 豊かなスポーツライフの設計	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたってスポーツと豊かにかかわるためのスポーツライフの設計のしかたについて理解する。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	1年	1	現代高等保健体育 (大修館)	図説現代高等保健体育(大修館) 現代高等保健体育ノート (大修館)
科目的概要と目標	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。			
单元・学習内容	到達度目標			
I 現代社会と健康 健康の考え方 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復	<ul style="list-style-type: none"> ・健康水準が、向上を続けてきたことの背景を知り、これから健康問題について興味関心が持てる。 ・健康については、様々な考えがあることを理解する。 ・健康で充実した生活を送るために、適切な意志決定・行動選択が必要であることを理解する。 ・ヘルスプロモーションの考え方を知り、それを支えている各種の保健活動を理解する。 			
健康の保持増進と疾病の予防 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の因果関係を知り、その予防方法を実践する。 ・薬物乱用は心身の健康などに深刻な影響を与えることを知り、絶対に手を出さないように意識する。 ・感染症をとりまく状況の変化を知り、その予防方法を実践する。 			
精神の健康 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の欲求と適応機制、精神と身体の関連について理解する。 ・欲求やストレスに対する適切な対処方法を知り、自己実現を図ることが重要であることを理解する。 			
交通安全 20 事故の現状と発生要因 21 安全な社会の形成 22 交通における安全	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状を知る。また、高校生は被害者になるだけではなく加害者にもなりうることを理解する。 ・交通事故を防ぐために、運転者として必要な資質と責任があること、環境要因や車両要因への対策も必要なことを理解する。 			
応急手当 23 応急手当の意義とその基本 24 日常的な応急手当 25 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の正しい応急処置が実践できる。 ・けがの応急手当(止血、RICEなど)が実践できる。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	2年	1	現代高等保健体育改訂版（大修館）	図説現代高等保健改訂版（大修館） 現代高等保健体育ノート改訂版（大修館）
科目的概要と目標	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。			
単元・学習内容	到達度目標			
II 生涯を通じる健康 生涯の各段階における健康 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康 7 高齢者そのための社会的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の体の変化を理解し、各段階の健康課題に応じた自己の健康管理の方法を知る。 信頼できる性情報と性行動の選択ができる。 結婚生活と健康のつながりを理解する。 胎児を守る母胎の役割を知る。 安全で確実な避妊方法を知る。 年齢とともに、体と心が変化することを知る。 中高年を健やかに生きる方法を知る。 			
保健・医療制度及び様々な保健活動 8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策	<ul style="list-style-type: none"> 様々な保健行政・保健サービスを知り、それを上手に利用できる。 			
III 社会生活と健康 環境と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壤汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策	<ul style="list-style-type: none"> 大気にかかる環境問題は、地球規模に広がっていることを理解する。 水質汚濁や土壤汚染は、様々な経路で健康に影響することを知る。 環境汚染を防ぐために、社会的対策が取られ、自分たちにもできることを実践する。 			
環境と食品の保健 4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動のしくみと働き 6 食品と環境の保健と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な日常生活を送る上で、ごみやし尿を衛生的に処理したり、上下水道を整備したりすることが不可欠であることを知る。 行政や企業が、食品の安全を守っていることや、自分たち自身も食品の安全を守る役割を担っていることを理解する。 			
労働と健康 7 働くことと健康 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> 働き方の変化により健康問題が変化してきたこと理解する。 労働災害、職業病の予防方法を知る。 			

シラバス (総合学科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭科・家庭基礎	1年	2	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	なし
科 目 の 概 要 と 目 標	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けようとする。 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 			
单元・学習内容	到達度目標			
家族社会との共生 第1章 生涯を見通す	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージごとの特徴を理解し、自分の将来とこれから社会について考えることができるようになる。 			
第2章 人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 変化する家族・家庭について学習し、私たちもその家族・地域・社会の一員であるという自覚を持つことができるようになる。 			
第3章 子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 子供を生み育てるこの意義について考えるとともに、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察する。 			
第4章 超高齢社会を共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、高齢社会への理解を深め、高齢期の課題について理解する。 			
第5章 共に生き、共に支える	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解し、将来に向けた課題に気づく。 			
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。 ひとりで取り組むだけでなく、協働することの意義を知る。 			
生活の自立 第6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫する。 			
第7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集ができる。 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫する。 			
第8章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに応じた住生活の特徴、機能、快適性、防災などの安全や環境に配慮した住居生活や住環境を工夫する。 			
第9章 経済生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解すること。 消費者の権利と責任を自覚して行動できるように消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解する。 自立した消費者として、生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察する。 			
第10章 持続可能な生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていくこうとする。 			
生活の創造 第11章 これからの生活を創造する	<ul style="list-style-type: none"> 人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 			

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
英語・英語コミュニケーション I	1年	4	LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)	補助プリント
科目的概要と目標	・さまざまなテーマの英文読解を通して、「読む」「聞く」「書く」「話す（やり取り）」「話す（発表）」の総合的な英語力を養う。			
単元・学習内容	到達度目標			
Lesson1 Enjoy Your Journey!	高校生活における目標設定について書かれている文章を読み、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。また、自分がこれから挑戦したいことについて、自分の考えを伝える。			
Lesson2 Curry Travels around the World	カレーの歴史と現在の様子についての文章を読んで、自分の経験や好み等の情報を伝え合うやり取りを続ける。また、自分の好きなカレーについて、食材や味などの情報を伝える。			
Lesson3 School Uniforms	学校の制服についての文章を読んで、学校の制服について、自分の考え方や気持ちを伝え合う。また、学校の制服着用について賛成か反対か、自分の考えを話し合い、意見交換する。			
Lesson4 Eco-Tour on Yakushima	屋久島のエコツアーアについての文章を読んで、世界遺産について、自分の考え方や気持ちを話して伝え合う。また、日本の世界遺産について、その場所についての情報や自分の考えを伝える。			
Lesson5 Bailey the Facility Dig	ファシリティドッグについての文章を読み、ペットや好きな動物について、自分の考え方や気持ちを話して伝え合う。また、ファシリティドッグの導入について賛成か反対か話し合う。			
Lesson6 Communication without Words	世界の非言語コミュニケーションについて、自分が話す時によく使用しているジェスチャーとその利点について、自分の考え方を伝え合う。自分が関心を持っている非言語コミュニケーションについて、その意味や自分の考え方を伝える。			
Lesson7 Dear World: Bana's War	バナの平和への思いとソーシャルメディアを利用した平和活動についての文章を読み、インターネットの良い点、悪い点についての自分の考えを、理由を示しながら伝え合う。			
Lesson8 The Best Education to Everyone, Everywhere	社会起業家について書かれた文章を読み、将来自分が就く職業を選ぶ際に重要なことについて、また将来自分が就きたい職業について、理由を示しながら発表する。			
Optional Lesson 1 Space Elevator	宇宙エレベーターについての文章を読み、宇宙について自分の関心がある事柄を伝え合う。また、もし宇宙エレベーターで宇宙に行けるとしたら何をしてみたいか、自分の考え方を伝える。			
Optional Lesson 2 Friendship over Time	日本とトルコの時を超えた友情についての文章を読んで、海外を訪れた経験や訪れたい外国について、自分の考え方を伝え合う。友情において大切なことについて、自分の考え方や気持ちを伝える。			
Reading One Autumn Date	アメリカで出会ったアユコとトニーの物語を読んで、最後のシーンでアユコがどのような思いを抱いていたか、自分の考え方を伝え合う。			

シラバス (総合学科)

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
情報・ 情報 I	1年	2	最新情報 I (実教出版)	最新情報 I 学習ノート (実教出版)
科目の概要 と目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につける。また、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。			
単元・学習内容	到達度目標			
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 中学校までの学習、経験等既習内容の調査を行う。 コンピュータの起動や終了の方法、OS の基本操作について練習する。 ファイルの保存、読み込み、共有フォルダの利用方法について理解する。 コンピュータ教室の使い方を理解する。 			
第1章 情報社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会の現状について理解する。 情報の特性について理解する。 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。 知的財産権について理解する。 他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。 			
1 情報社会				
2 情報社会の法規と権利				
3 情報技術が築く新しい社会				
第2章 メディアと情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 社会の中で利活用されている情報技術について理解する。 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法について考える。 メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。 メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。 コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。 社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解する。 報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する。 プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 Web ページ作成の方法について理解する。 			
1 メディアとコミュニケーション				
2 情報デザイン				
3 情報デザインの実践				
第3章 システムとデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。 アナログとデジタルの違いについて理解する。 2進数と情報量の関係について理解する。 コンピュータの演算の仕組みを理解する。 数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 			
1 情報システムの構成				
2 情報のデジタル化				
第4章 ネットワークとセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータでの数値の計算方法について理解する。 音声をデジタルで表現する方法について理解する。 静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 情報のデータ量を小さくする方法について理解する。 情報通信ネットワークの構成について理解する。 情報通信ネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解する。 通信ネットワークの構成について理解する。 Web ページとメールの仕組みについて理解する。 ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。 脅威に対する様々な安全対策について理解する。 情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。 			
1 情報通信ネットワーク				
2 情報セキュリティ				
第5章 問題解決とその方法	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の手順について理解する。 問題の発見の方法について理解する。 問題を明確化する方法について理解する。 解決案を検討したり、整理・分析したりする方法について理解する。 合意形成を目指した解決案を決定する方法について理解する。 実行した解決案を評価する方法について理解する。 データを収集したり、整理したりする方法について理解する。 表計算ソフトの活用方法について理解する。 データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。 データ分析の手法について理解する。 データベースの種類とその仕組みについて理解する。 モデル化の意味について理解する。 モデル化の分類について理解する。 モデル化する手順と方法を理解し、様々なモデルを作成する。 シミュレーションの意義について理解し、確率的モデルのシミュレーションを行う。 問題解決のためにシミュレーションを活用する。 			
1 問題解決				
2 データの活用				
3 モデル化				
4 シミュレーション				
第6章 アルゴリズムとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 変数を使用したプログラムを作成する。 関数を使用したプログラムを作成する。 多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。 			
1 プログラミングの方法				
2 プログラミングの実践				
3 探索と整列のプログラム				

シラバス（総合学科）

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
産業社会と人間	1年	2		「産業社会と人間」に関するプリント 探究学習の進め方（マイナビ） 学問 業界 職種ガイドブック（マイナビ） Locus テキスト スタディサポート
科目的概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 職業選択に必要な能力、態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力、表現能力を育てる。 生涯に渡って学習に取り組む意欲や態度を培わせる。 豊かな社会を築くための積極的に寄与する意欲や態度を身につけさせる。 社会の中における自分自身の在り方、生き方を探究する姿勢を養う。 			
単元	学習内容		到達度目標	
自己を見つめ未来を描く	スタディサポートテスト 進路講演会		キャリアデザイン（10年後の未来を考える）を築くにあたって、勉強する意味や自己探究のポイントを知り、「なりたい自分」をイメージすることができる。	
職業研究	社会人インタビューを通して、働く人の思いを知り、働く意義を考える。		社会で活躍している方の話を聞き、仕事の内容や職業人としての心構えについて理解を深め、働く意義について考える。自己の適性や興味・関心をふまえ、将来就きたい職業や学びたい学問を考えることができる。	
学問研究	大学での学びを知る。		進路選択の過程や大学での学びについて動画などを通じて、進路選択の参考とする。また、学ぶ目的や進路実現のために、高校生活ですべきことについて考えることができる。グループディスカッションによる探究活動を行い、様々な角度から深く考察することができるようとする。	
進路研究	上級学校を知る。 科目ガイダンス		上級学校の種類や入学試験制度、文系・理系の主な学部についての説明を聞き、進路選択の参考とすることができる。	
自己を高める	スタディサポートテスト		基礎学力の到達度を知り自己の生活状況を振り返ることで、学習や進路に対する意識を高めることができる。	
地域探究 企業研究	地域を知る。社会の課題解決と進路選択を結び付ける。		地域社会をテーマに、問い合わせの立て方、課題発見・解決の方法、課題解決に向けた情報収集の手法を学ぶ。地域の企業研究、企業訪問を通して、社会の課題解決と自分のキャリア・進路選択について考えることができる。	
1年間のまとめ	「産業社会と人間」発表会 1年間のまとめ（アンケート）		「産業社会と人間・発表会」を通して、1年間の活動を振り返るとともに、活動の成果を発表することができる。	